株式会社 フィデア情報総研
FIDEA Information & Research Institute, Inc.

第 62 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

（令和 2 年 2 月調査）

～景況感は 3 期連続で悪化。先行きも悪化の見込み～

【　調査の要旨　】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲22.6（前回調査比 7.3 ポイント下落）と 3 期連続で悪化した。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」がおおむね横ばいとなったものの、「売上高」「営業利益」はいずれも悪化し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業が▲17.8（前回調査比 10.8 ポイント下落）、製造業が▲22.9（前回調査比 1.6 ポイント上昇）、卸・小売業が▲35.0（前回調査比 13.3 ポイント下落）、サービス業が▲13.2（前回調査比 8.6 ポイント下落）と、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲21.8（前回調査比 4.2 ポイント下落）、村山北部が▲17.3（前回調査比 11.7 ポイント下落）、最上が▲9.3（前回調査比 20.7 ポイント下落）、置賜が▲27.3（前回調査比 0.9 ポイント下落）、庄内田川が▲21.8（前回調査比 2.6 ポイント下落）、庄内飽海が▲33.3（前回調査比 12.7 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。最上ではＤＩ値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲31.8（今回調査比 9.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、全業種でみると「実施している（した）」と回答した企業の割合は「残業規制」が 48.1%（昨年比 9.0 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 17.0%（昨年比 1.1 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 5.3%（昨年比 2.4 ポイント上昇）と、すべての項目で昨年に比べ実施している企業の割合が上昇した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 41.5%（昨年調査比 1.0 ポイント低下）と小幅ながら 2 年連続で低下となった。

令和 2 年 3 月

株式会社　フィデア情報総研

目次

Ⅰ.　県内企業の業況 …… 1
１．概況 …… 1
２．業種別の動向 …… 2
（１）　業種別の概況 …… 2
（２）　業種別ＤＩ値の動向 …… 3
①　建設業 …… 3
②　製造業 …… 4
③　卸・小売業 …… 5
④　サービス業 …… 6
３．地域別の動向 …… 7
（１）　地域別の概況 …… 7
（２）　地域別ＤＩ値の動向 …… 8
①　村山南部 …… 8
②　村山北部 …… 9
③　最　上 …… 10
④　置　賜 …… 11
⑤　庄内田川 …… 12
⑥　庄内飽海 …… 13
Ⅱ.　景気の天気予報図 …… 14
Ⅲ.　特別調査 …… 15
１．雇用調整について …… 15
２．新卒者の採用状況について …… 16
＜参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率＞ …… 17
＜参考資料Ⅱ：調査の概要＞ …… 17

Ⅰ. 県内企業の業況

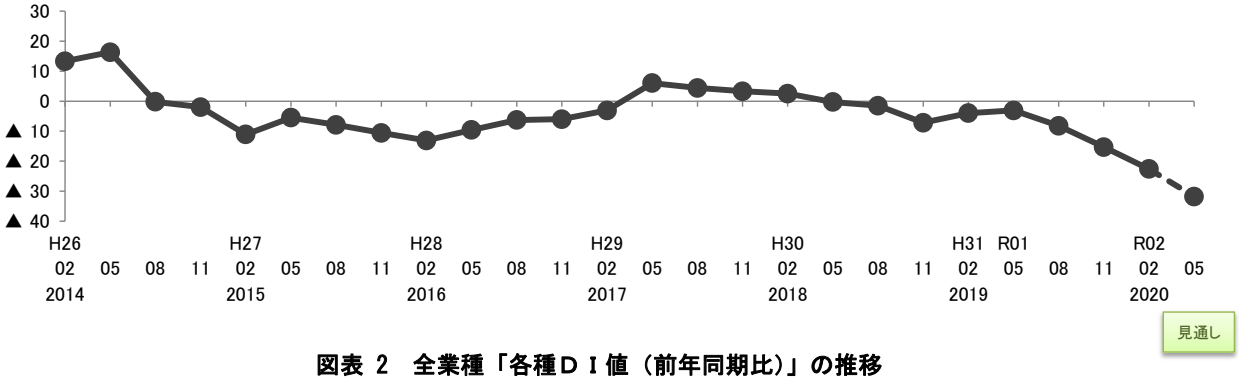
１. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲22.6（前回調査比 7.3 ポイント下落）と 3 期連続で悪化した。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」がおおむね横ばいとなったものの、「売上高」「営業利益」はいずれも悪化し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

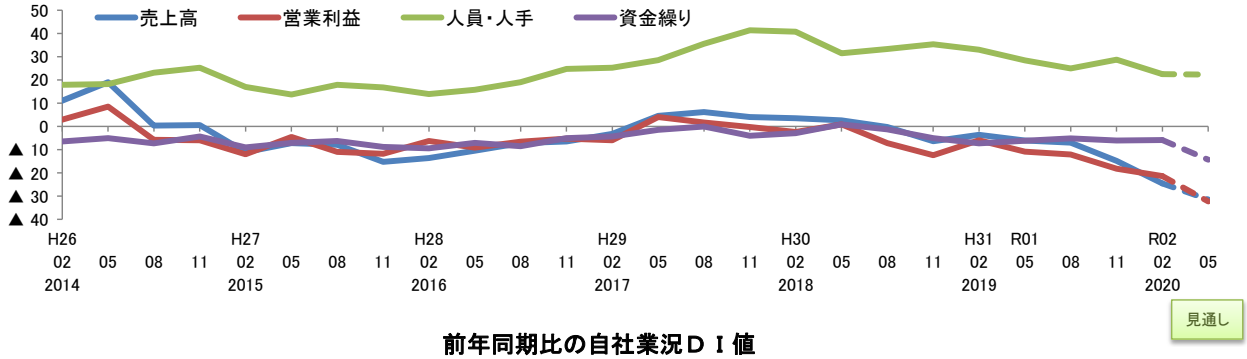
先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲31.8（今回調査比 9.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

米中貿易摩擦や中国経済の影響、原材料価格の高騰に加え、暖房関連商品等の売り上げ減少や除雪業務の減少といった暖冬による影響がみられる。一方、消費増税による影響にはばらつきがみられる。また、新型コロナウィルスによる影響を懸念する状況もうかがえる。

図表 1　全業種「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 2　全業種「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比） 全業種	 前回調査比	 前回調査予測	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
H 31.02(n=409)	▲ 4.0	(3.2)	▲ 8.9	▲ 3.6	▲ 5.9	33.0	▲ 7.3
R 01.05(n=415)	▲ 3.1	(0.9)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 10.8	28.5	▲ 6.1
R 01.08(n=416)	▲ 8.2	(▲ 5.1)	▲ 18.8	▲ 7.0	▲ 12.1	25.0	▲ 5.1
R 01.11(n=385)	▲ 15.3	(▲ 7.1)	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 18.2	28.8	▲ 6.0
R 02.02(n=412)	**▲ 22.6**	**(▲ 7.3)**	**▲ 20.0**	**▲ 24.5**	**▲ 21.4**	**22.5**	**▲ 5.8**
前回調査比	－	－	－	(▲ 9.7)	(▲ 3.2)	(▲ 6.3)	(0.2)
先行き見通し	**▲ 31.8**	**－**	**－**	**▲ 31.5**	**▲ 32.3**	**22.3**	**▲ 14.3**
今回調査比	(▲ 9.2)	－	－	(▲ 7.0)	(▲ 10.9)	(▲ 0.2)	(▲ 8.5)

※「売上高」ＤＩ値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

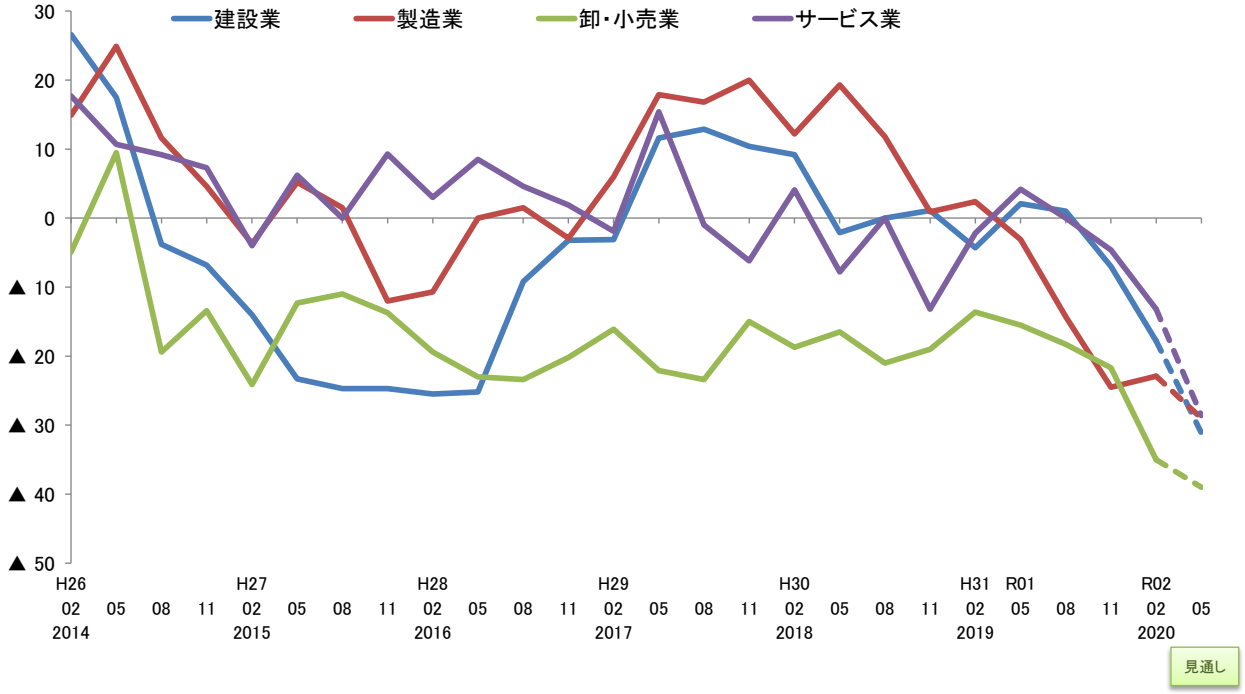
２．業種別の動向

（１）業種別の概況

業種別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業が▲17.8（前回調査比 10.8 ポイント下落）、製造業が▲22.9（前回調査比 1.6 ポイント上昇）、卸・小売業が▲35.0（前回調査比 13.3 ポイント下落）、サービス業が▲13.2（前回調査比 8.6 ポイント下落）と、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3　業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

業種別 / 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比） 全業種	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=409)	▲ 4.0	▲ 4.3	2.4	▲ 13.6	▲ 2.2
R 01.05(n=415)	▲ 3.1	2.1	▲ 3.1	▲ 15.5	4.2
R 01.08(n=416)	▲ 8.2	1.0	▲ 14.3	▲ 18.3	0.0
R 01.11(n=385)	▲ 15.3	▲ 7.0	▲ 24.5	▲ 21.7	▲ 4.6
R 02.02(n=412)	▲ 22.6	▲ 17.8	▲ 22.9	▲ 35.0	▲ 13.2
前回調査比	(▲ 7.3)	(▲ 10.8)	(1.6)	(▲ 13.3)	(▲ 8.6)
先行き見通し	▲ 31.8	▲ 31.1	▲ 29.0	▲ 39.0	▲ 28.6
今回調査比	(▲ 9.2)	(▲ 13.3)	(▲ 6.1)	(▲ 4.0)	(▲ 15.4)

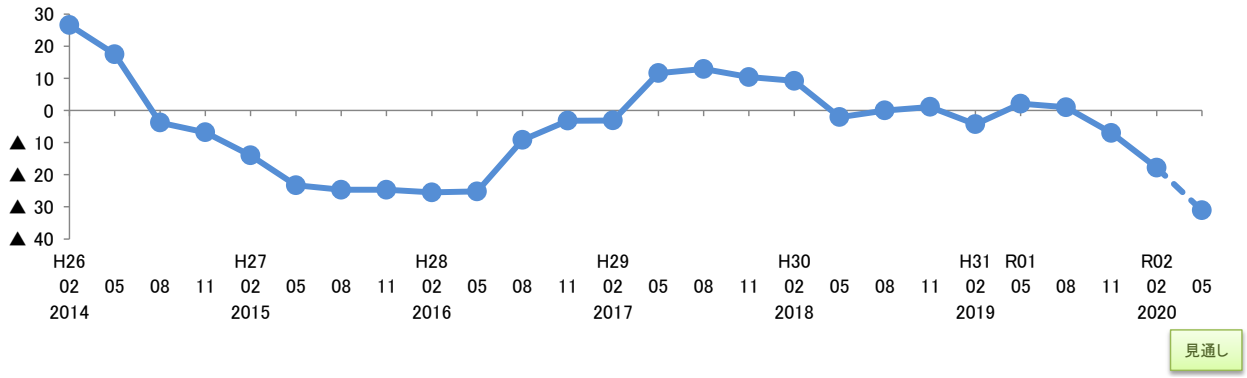
（２）業種別ＤＩ値の動向

①　建設業

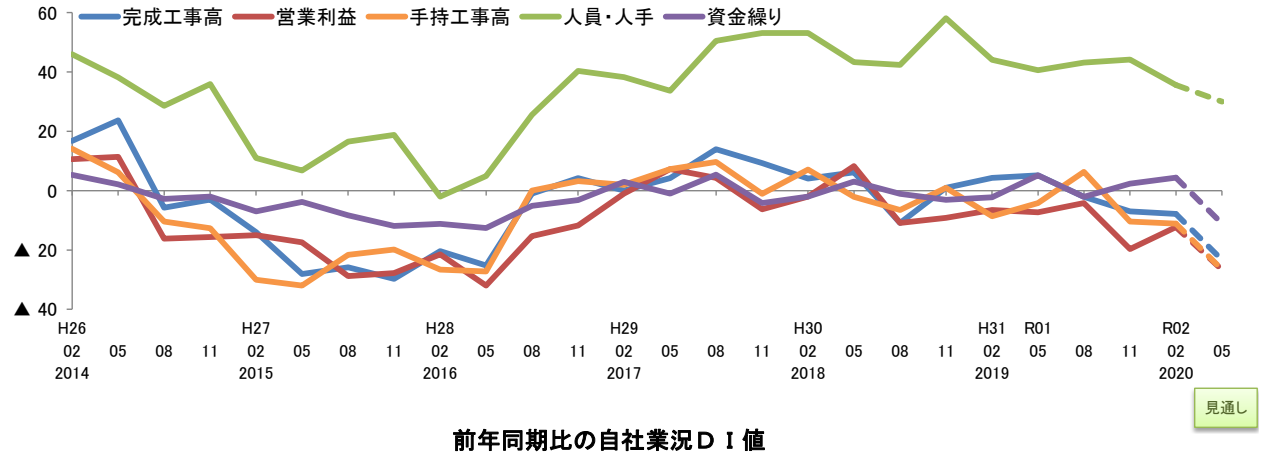
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲17.8（前回調査比 10.8 ポイント下落）と、3 期連続で悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「資金繰り」が改善したものの、「完成工事高」「手持工事高」が悪化した。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、暖冬による除雪関連業務減少の影響がうかがえる。一方、消費増税については、反動減の影響のある企業と、さほど影響のない企業とがあり、ばらつきがみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲31.1（今回調査比 13.3 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 4　建設業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 5　建設業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

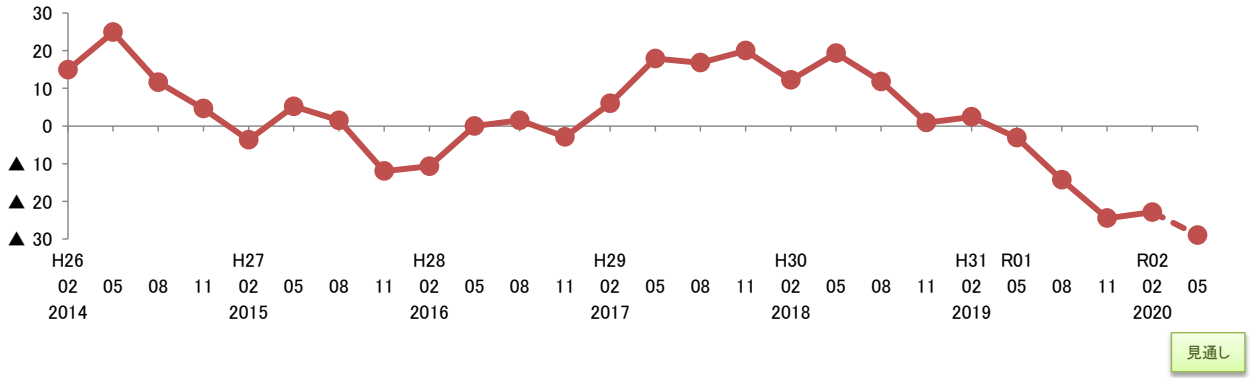
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
H 31.02(n=93)	▲ 4.3	(▲ 5.4)	▲ 14.3	4.3	▲ 6.5	▲ 8.6	44.1	▲ 2.2
R 01.05(n=96)	2.1	(6.4)	▲ 27.9	5.2	▲ 7.3	▲ 4.2	40.6	5.2
R 01.08(n=95)	1.0	(▲ 1.1)	▲ 16.6	▲ 2.1	▲ 4.2	6.3	43.2	▲ 2.1
R 01.11(n=86)	▲ 7.0	(▲ 8.0)	▲ 14.8	▲ 7.0	▲ 19.7	▲ 10.4	44.2	2.4
R 02.02(n=90)	**▲ 17.8**	**(▲ 10.8)**	**▲ 27.9**	**▲ 7.8**	**▲ 12.3**	**▲ 11.1**	**35.6**	**4.4**
前回調査比	－	－	－	(▲ 0.8)	(7.4)	(▲ 0.7)	(▲ 8.6)	(2.0)
先行き見通し	**▲ 31.1**	**－**	**－**	**▲ 23.3**	**▲ 26.7**	**▲ 26.6**	**30.0**	**▲ 11.1**
今回調査比	(▲ 13.3)	－	－	(▲ 15.5)	(▲ 14.4)	(▲ 15.5)	(▲ 5.6)	(▲ 15.5)

② 製造業

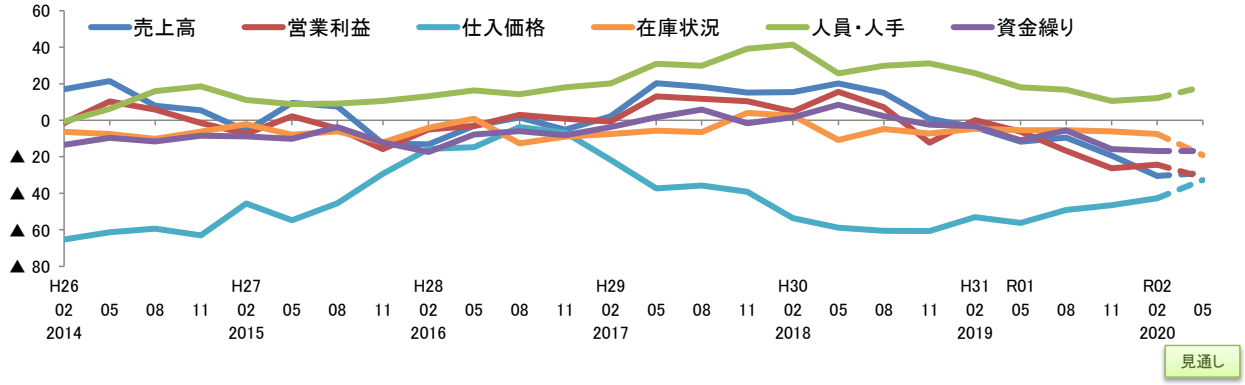
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲22.9（前回調査比 1.6 ポイント上昇）と、足踏み状態となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「売上高」「在庫状況」「資金繰り」が悪化した一方、「営業利益」「仕入価格」がいずれも小幅ながら改善となった。「人員・人手」は 5 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、食料品製造業を中心に天候不順による原材料価格の高騰や消費増税の影響がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲29.0（今回調査比 6.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6　製造業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 7　製造業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

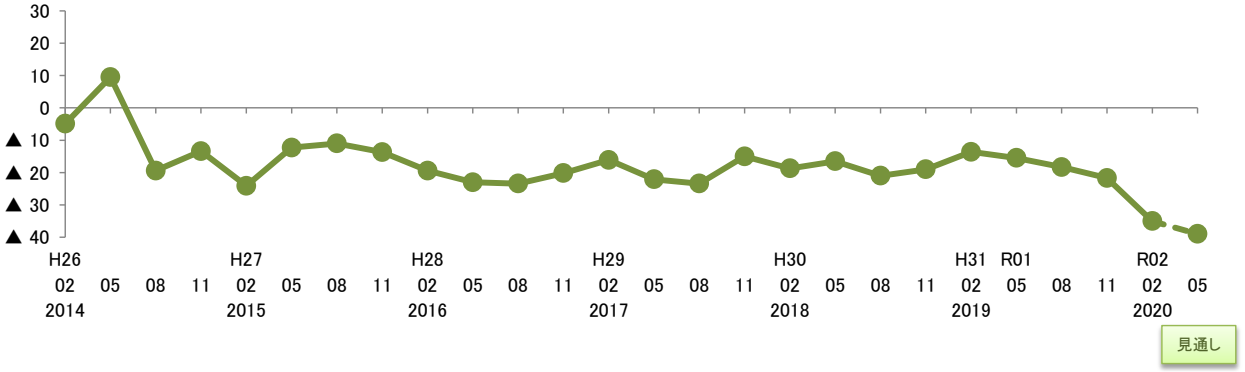
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
H 31.02(n=128)	2.4	(1.5)	1.7	▲ 3.9	0.0	▲ 53.1	▲ 4.7	25.8	▲ 3.2
R 01.05(n=128)	▲ 3.1	(▲ 5.5)	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 6.2	▲ 56.2	▲ 5.5	18.0	▲ 10.9
R 01.08(n=126)	▲ 14.3	(▲ 11.2)	▲ 16.4	▲ 9.5	▲ 16.7	▲ 49.2	▲ 5.5	16.7	▲ 5.6
R 01.11(n=114)	▲ 24.5	(▲ 10.2)	▲ 15.9	▲ 19.3	▲ 26.3	▲ 46.5	▲ 6.1	10.5	▲ 15.8
R 02.02(n=131)	**▲ 22.9**	**(1.6)**	**▲ 13.1**	**▲ 30.5**	**▲ 24.4**	**▲ 42.7**	**▲ 7.6**	**12.2**	**▲ 16.8**
前回調査比	－	－	－	(▲ 11.2)	(1.9)	(3.8)	(▲ 1.5)	(1.7)	(▲ 1.0)
先行き見通し	**▲ 29.0**	**－**	**－**	**▲ 29.0**	**▲ 31.3**	**▲ 32.8**	**▲ 19.1**	**18.3**	**▲ 16.8**
今回調査比	(▲ 6.1)	－	－	(1.5)	(▲ 6.9)	(9.9)	(▲ 11.5)	(6.1)	(0.0)

③ 卸・小売業

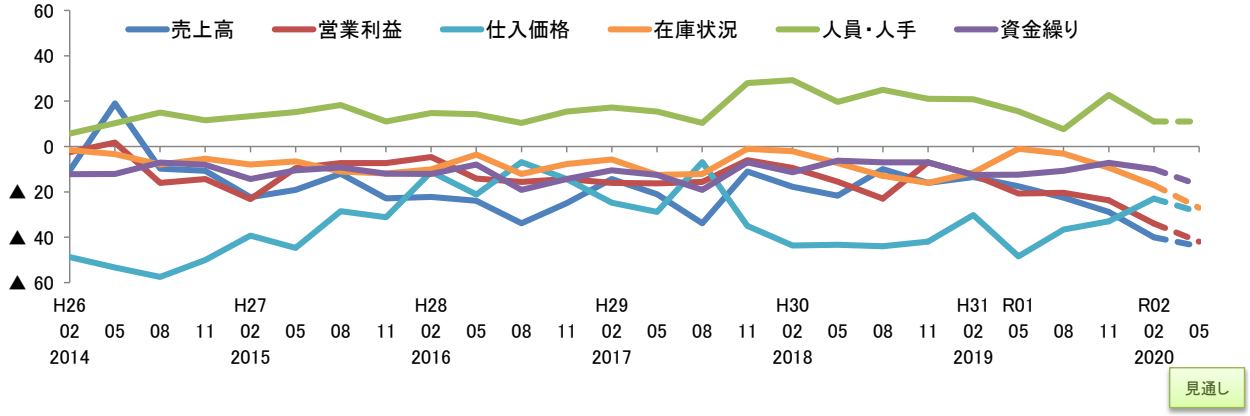
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲35.0（前回調査比 13.3 ポイント下落）と 4 期連続で悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」が 3 期連続で改善したものの、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」の 4 項目が悪化となった。「人員・人手」は 11.0（前回調査比 11.7 ポイント下落）とプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、消費増税による反動減の影響のほか、暖冬による暖房関連商品や燃料などの売り上げ減少の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲39.0（今回調査比 4.0 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8　卸・小売業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 9　卸・小売業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

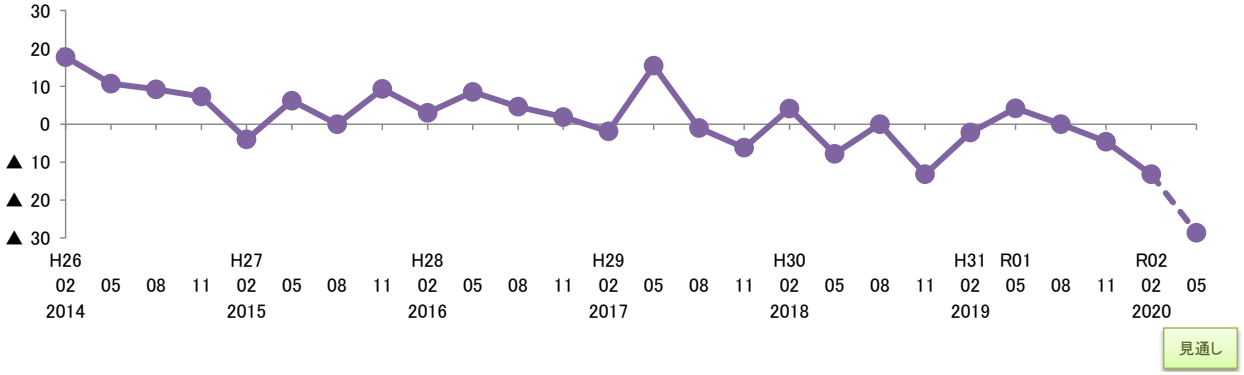
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
H 31.02 (n=96)	▲ 13.6	(5.4)	▲ 15.0	▲ 13.5	▲ 12.5	▲ 30.2	▲ 11.5	20.8	▲ 12.5
R 01.05 (n=97)	▲ 15.5	(▲ 1.9)	▲ 31.3	▲ 17.5	▲ 20.7	▲ 48.5	▲ 1.0	15.5	▲ 12.4
R 01.08 (n=93)	▲ 18.3	(▲ 2.8)	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 20.4	▲ 36.6	▲ 3.2	7.6	▲ 10.7
R 01.11 (n=97)	▲ 21.7	(▲ 3.4)	▲ 12.9	▲ 28.8	▲ 23.7	▲ 33.0	▲ 9.3	22.7	▲ 7.2
R 02.02 (n=100)	**▲ 35.0**	**(▲ 13.3)**	**▲ 30.9**	**▲ 40.0**	**▲ 34.0**	**▲ 23.0**	**▲ 17.0**	**11.0**	**▲ 10.0**
前回調査比	－	－	－	(▲ 11.2)	(▲ 10.3)	(10.0)	(▲ 7.7)	(▲ 11.7)	(▲ 2.8)
先行き見通し	**▲ 39.0**	**－**	**－**	**▲ 44.0**	**▲ 42.0**	**▲ 29.0**	**▲ 27.0**	**11.0**	**▲ 17.0**
今回調査比	(▲ 4.0)	－	－	(▲ 4.0)	(▲ 8.0)	(▲ 6.0)	(▲ 10.0)	(0.0)	(▲ 7.0)

④ サービス業

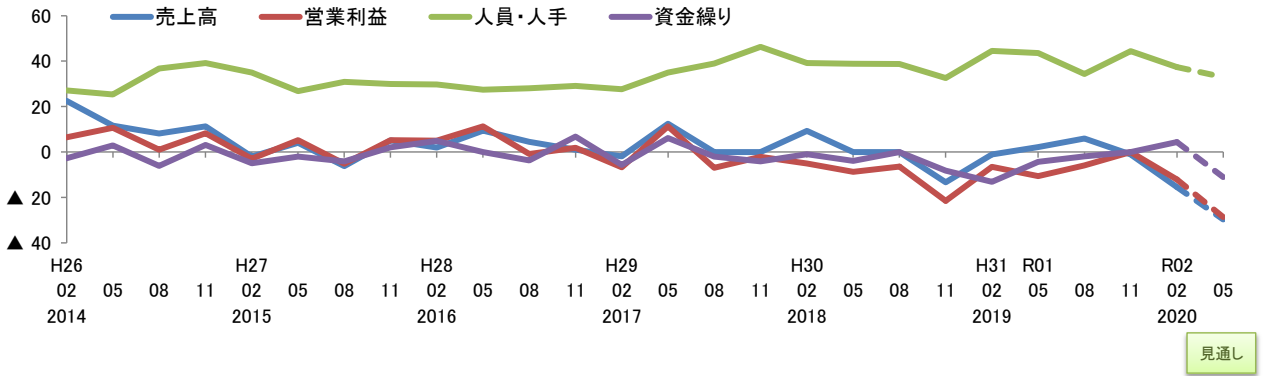
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲13.2（前回調査比 8.6 ポイント下落）と 3 期連続で悪化した。「各種ＤＩ値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「営業利益」が大幅に悪化した。「人員・人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントから、旅館、ホテル、旅客運送関連で業況悪化の状況がみられたほか、10 月の台風や暖冬による需要減の影響がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲28.6（今回調査比 15.4 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。各社コメントから、今後の新型コロナウィルスの影響を警戒する状況が見受けられる。

図表 10　サービス業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 11　サービス業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
H 31.02 (n=92)	▲ 2.2	(11.0)	▲ 10.2	▲ 1.1	▲ 6.5	44.5	▲ 13.1
R 01.05 (n=94)	4.2	(6.4)	▲ 14.1	2.2	▲ 10.6	43.6	▲ 4.3
R 01.08 (n=102)	0.0	(▲ 4.2)	▲ 23.4	5.9	▲ 5.9	34.3	▲ 1.9
R 01.11 (n=88)	▲ 4.6	(▲ 4.6)	▲ 6.9	▲ 1.1	0.0	44.4	0.0
R 02.02 (n=91)	**▲ 13.2**	**(▲ 8.6)**	**▲ 9.1**	**▲ 15.4**	**▲ 12.1**	**37.4**	**4.4**
前回調査比	－	－	－	(▲ 14.3)	(▲ 12.1)	(▲ 7.0)	(4.4)
先行き見通し	**▲ 28.6**	**－**	**－**	**▲ 29.7**	**▲ 28.6**	**33.0**	**▲ 11.0**
今回調査比	(▲ 15.4)	－	－	(▲ 14.3)	(▲ 16.5)	(▲ 4.4)	(▲ 15.4)

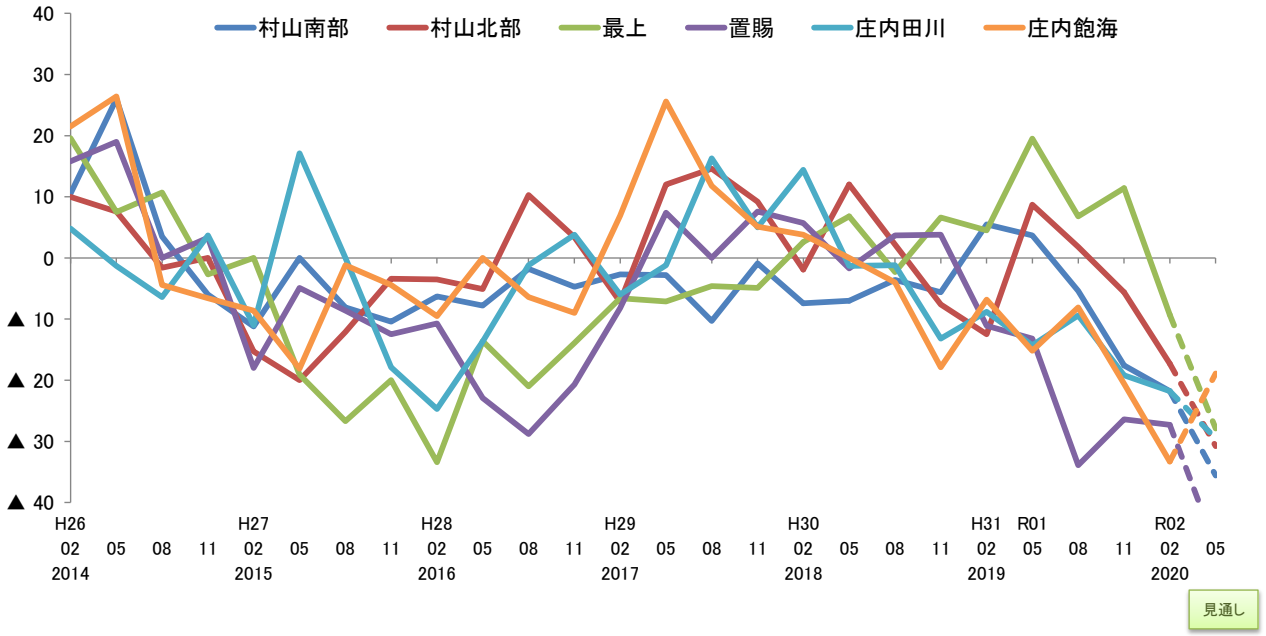
３．地域別の動向

（１）地域別の概況

地域別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲21.8（前回調査比 4.2 ポイント下落）、村山北部が▲17.3（前回調査比 11.7 ポイント下落）、最上が▲9.3（前回調査比 20.7 ポイント下落）、置賜が▲27.3（前回調査比 0.9 ポイント下落）、庄内田川が▲21.8（前回調査比 2.6 ポイント下落）、庄内飽海が▲33.3（前回調査比 12.7 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。最上ではＤＩ値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、庄内飽海で改善が見込まれるものの、その他の 5 地域では悪化が見込まれている。

図表 12　地域別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

地域別 / 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比） 全地域	村山南部	村山北部	最 上	置 賜	庄内田川	庄内飽海
H 31.02（n=409）	▲ 4.0	5.5	▲ 12.5	4.5	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 6.8
R 01.05（n=415）	▲ 3.1	3.7	8.7	19.5	▲ 13.2	▲ 14.3	▲ 15.2
R 01.08（n=416）	▲ 8.2	▲ 5.4	1.8	6.8	▲ 33.9	▲ 9.4	▲ 8.1
R 01.11（n=385）	▲ 15.3	▲ 17.6	▲ 5.6	11.4	▲ 26.4	▲ 19.2	▲ 20.6
R 02.02（n=412）	**▲ 22.6**	**▲ 21.8**	**▲ 17.3**	**▲ 9.3**	**▲ 27.3**	**▲ 21.8**	**▲ 33.3**
前回調査比	（▲ 7.3）	（▲ 4.2）	（▲ 11.7）	（▲ 20.7）	（▲ 0.9）	（▲ 2.6）	（▲ 12.7）
先行き見通し	**▲ 31.8**	**▲ 35.6**	**▲ 30.8**	**▲ 27.9**	**▲ 47.2**	**▲ 29.5**	**▲ 18.9**
今回調査比	（▲ 9.2）	（▲ 13.8）	（▲ 13.5）	（▲ 18.6）	（▲ 19.9）	（▲ 7.7）	（14.4）

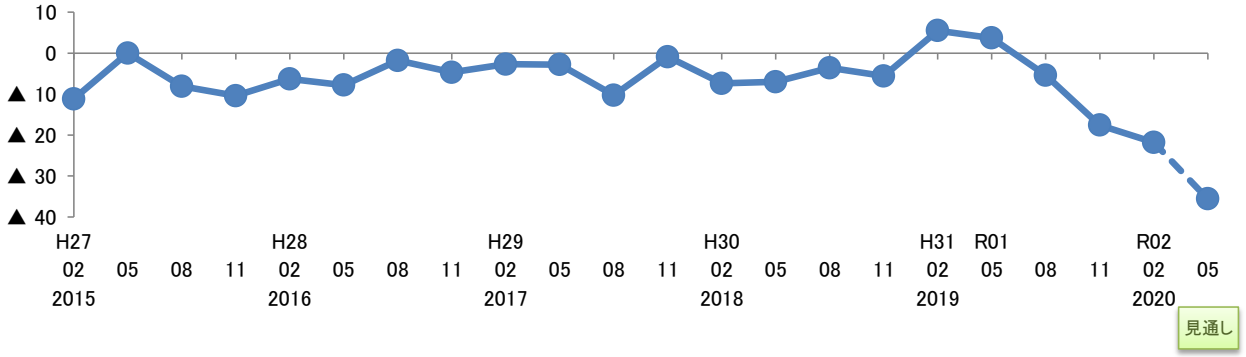
（２）地域別ＤＩ値の動向

①　村山南部

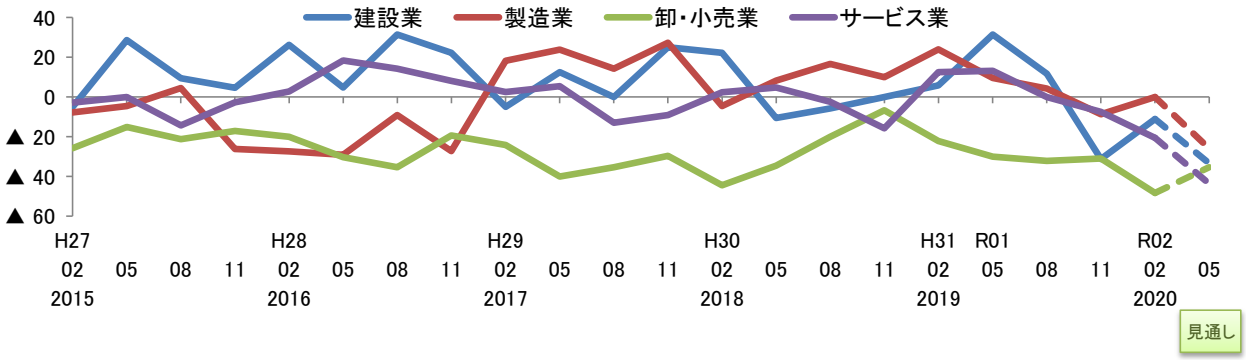
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲21.8（前回調査比 4.2 ポイント下落）と 4 期連続で悪化となった。業種別にみると、卸・小売業とサービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲35.6（今回調査比 13.8 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 13　村山南部「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 14　村山南部「業種別・自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

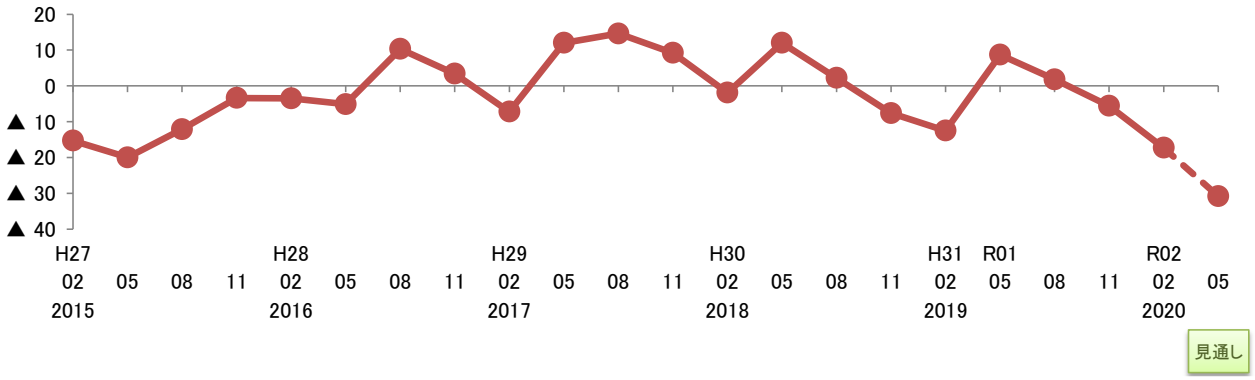
村山南部	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=109)	5.5	(11.1)	▲ 8.5	5.8	24.0	▲ 22.2	12.5
R 01.05(n=108)	3.7	(▲ 1.8)	▲ 12.9	31.5	9.6	▲ 30.0	13.2
R 01.08(n=112)	▲ 5.4	(▲ 9.1)	▲ 12.9	11.7	4.3	▲ 32.2	0.0
R 01.11(n=108)	▲ 17.6	(▲ 12.2)	▲ 5.3	▲ 31.2	▲ 8.7	▲ 31.0	▲ 7.5
R 02.02(n=115)	**▲ 21.8**	**(▲ 4.2)**	**▲ 17.6**	**▲ 11.1**	**0.0**	**▲ 48.3**	**▲ 20.5**
前回調査比	－	－	－	(20.1)	(8.7)	(▲ 17.3)	(▲ 13.0)
先行き見通し	**▲ 35.6**	**－**	**－**	**▲ 33.3**	**▲ 25.9**	**▲ 35.4**	**▲ 43.6**
今回調査比	(▲ 13.8)	－	－	(▲ 22.2)	(▲ 25.9)	(12.9)	(▲ 23.1)

② 村山北部

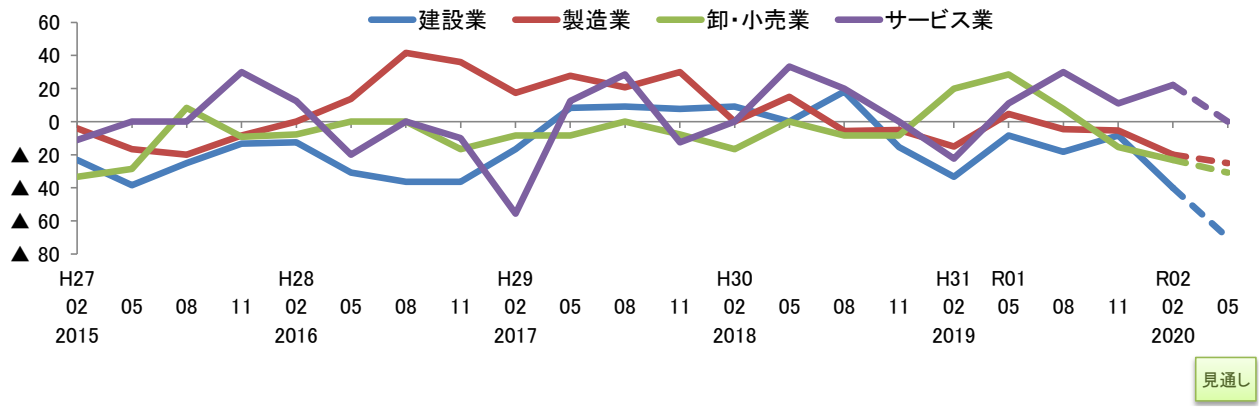
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲17.3（前回調査比 11.7 ポイント下落）と 3 期連続で悪化した。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲30.8（今回調査比 13.5 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 15　村山北部「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 16　村山北部「業種別・自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

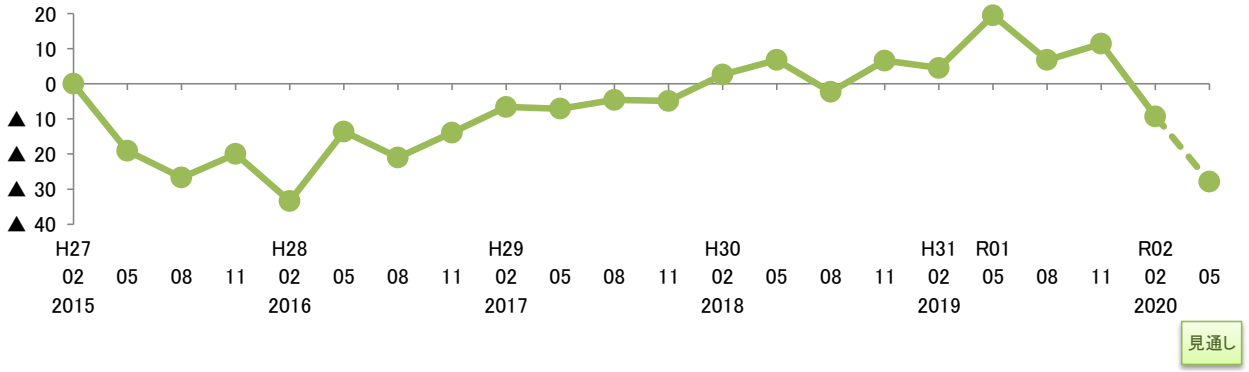
村山北部	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=48)	▲ 12.5	(▲ 4.9)	1.9	▲ 33.3	▲ 15.0	20.0	▲ 22.3
R 01.05(n=57)	8.7	(21.2)	▲ 31.3	▲ 8.4	4.6	28.6	11.1
R 01.08(n=56)	1.8	(▲ 6.9)	▲ 3.6	▲ 18.2	▲ 4.6	7.7	30.0
R 01.11(n=53)	▲ 5.6	(▲ 7.4)	▲ 7.1	▲ 8.3	▲ 5.3	▲ 15.4	11.1
R 02.02(n=52)	**▲ 17.3**	**(▲ 11.7)**	**▲ 32.1**	**▲ 40.0**	**▲ 20.0**	**▲ 23.1**	**22.2**
前回調査比	－	－	－	(▲ 31.7)	(▲ 14.7)	(▲ 7.7)	(11.1)
先行き見通し	**▲ 30.8**	**－**	**－**	**▲ 70.0**	**▲ 25.0**	**▲ 30.8**	**0.0**
今回調査比	(▲ 13.5)	－	－	(▲ 30.0)	(▲ 5.0)	(▲ 7.7)	(▲ 22.2)

③ 最　上

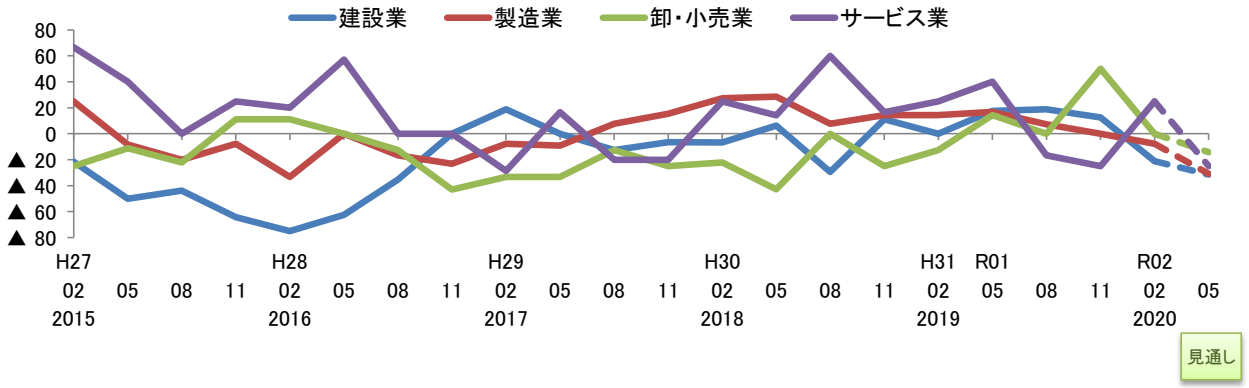
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲9.3（前回調査比 20.7 ポイント下落）と悪化し、ＤＩ値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で悪化となり、中でも建設業ではＤＩ値がマイナスに転じた。各社コメントから、暖冬による除雪関連業務の大幅な減少が影響している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲27.9（今回調査比 18.6 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 17　最上「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 18　最上「業種別・自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

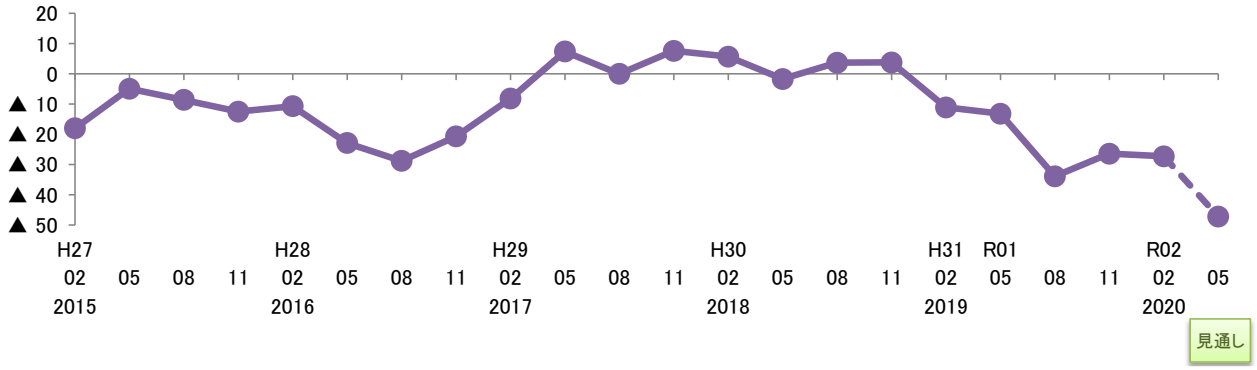
最　上	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=44)	4.5	(▲ 2.1)	0.0	0.0	14.3	▲ 12.5	25.0
R 01.05(n=41)	19.5	(15.0)	▲ 9.0	17.7	16.7	14.3	40.0
R 01.08(n=44)	6.8	(▲ 12.7)	4.9	18.8	7.2	0.0	▲ 16.7
R 01.11(n=35)	11.4	(4.6)	2.2	12.5	0.0	50.0	▲ 25.0
R 02.02(n=43)	**▲ 9.3**	**(▲ 20.7)**	**▲ 5.7**	**▲ 21.0**	**▲ 7.7**	**0.0**	**25.0**
前回調査比	－	－	－	(▲ 33.5)	(▲ 7.7)	(▲ 50.0)	(50.0)
先行き見通し	**▲ 27.9**	**－**	**－**	**▲ 31.5**	**▲ 30.8**	**▲ 14.3**	**▲ 25.0**
今回調査比	(▲ 18.6)	－	－	(▲ 10.5)	(▲ 23.1)	(▲ 14.3)	(▲ 50.0)

④ 置　賜

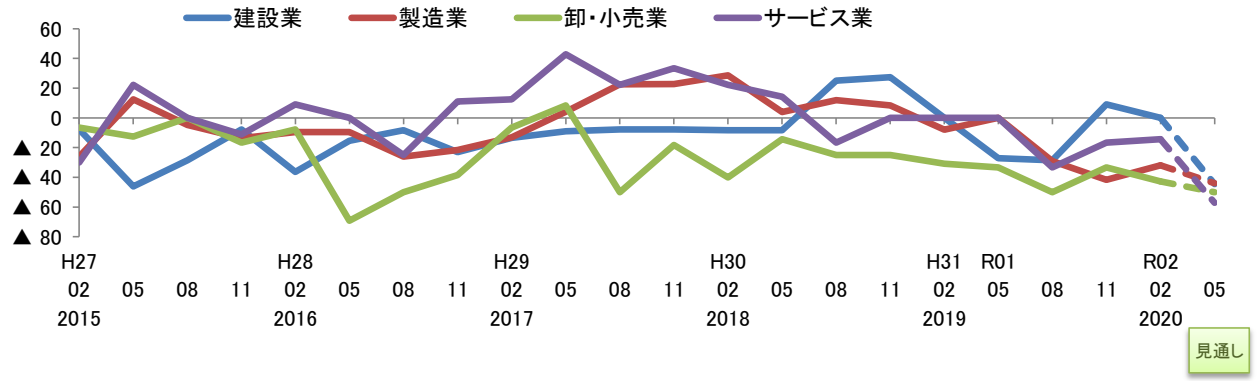
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲27.3（前回調査比 0.9 ポイント下落）と若干悪化となった。業種別にみると、製造業で 3 期ぶりに改善、サービス業では 2 期連続で改善したものの、建設業、卸・小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲47.2（今回調査比 19.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 19　置賜「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 20　置賜「業種別・自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

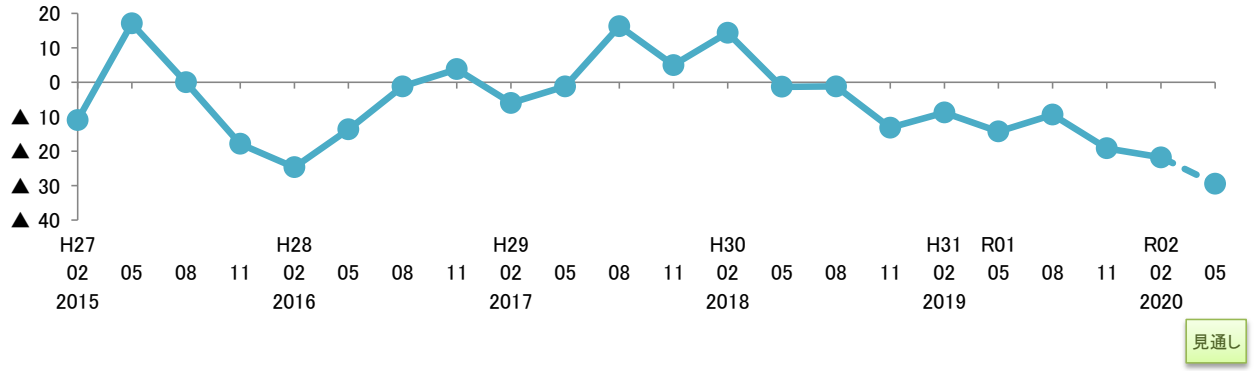
置　賜	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=54)	▲ 11.1	(▲ 14.9)	▲ 9.4	0.0	▲ 8.0	▲ 30.8	0.0
R 01.05(n=53)	▲ 13.2	(▲ 2.1)	▲ 24.0	▲ 27.2	0.0	▲ 33.3	0.0
R 01.08(n=56)	▲ 33.9	(▲ 20.7)	▲ 24.5	▲ 28.6	▲ 29.1	▲ 50.0	▲ 33.3
R 01.11(n=53)	▲ 26.4	(7.5)	▲ 35.7	9.1	▲ 41.6	▲ 33.4	▲ 16.6
R 02.02(n=55)	**▲ 27.3**	**(▲ 0.9)**	**▲ 24.5**	**0.0**	**▲ 32.0**	**▲ 42.8**	**▲ 14.3**
前回調査比	－	－	－	(▲ 9.1)	(9.6)	(▲ 9.4)	(2.3)
先行き見通し	**▲ 47.2**	**－**	**－**	**▲ 44.5**	**▲ 44.0**	**▲ 50.0**	**▲ 57.1**
今回調査比	(▲ 19.9)	－	－	(▲ 44.5)	(▲ 12.0)	(▲ 7.2)	(▲ 42.8)

⑤ 庄内田川

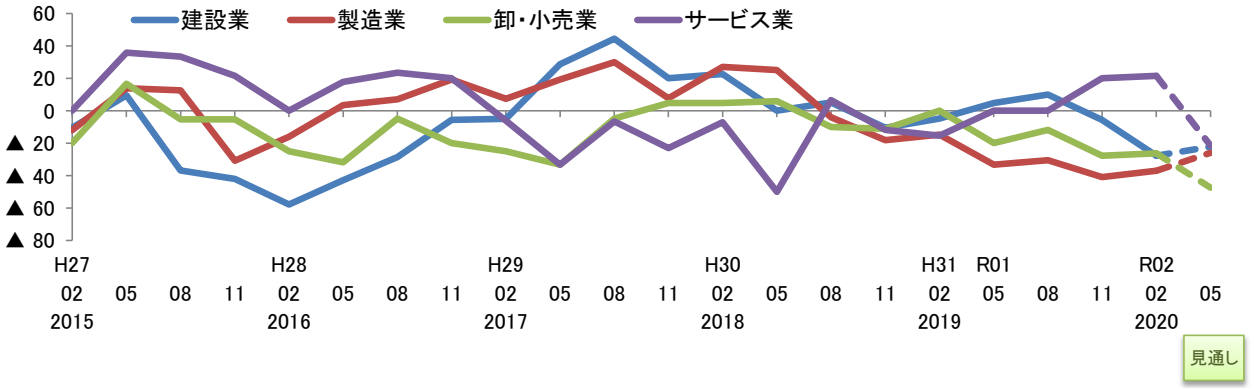
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲21.8（前回調査比 2.6 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業で小幅ながら改善した一方、建設業で大幅な悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲29.5（今回調査 7.7 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 21　庄内田川「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 22　庄内田川「業種別・自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

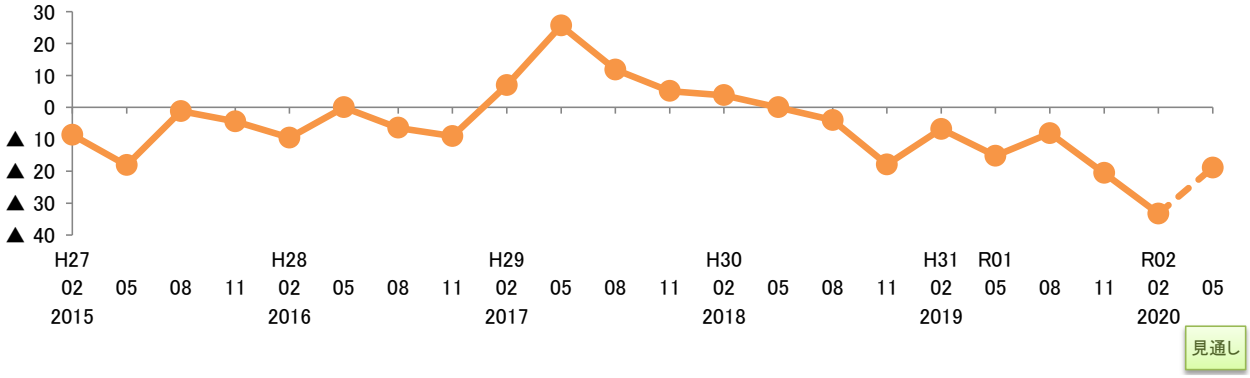
庄内田川	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=80)	▲ 8.8	(4.4)	▲ 14.5	▲ 4.8	▲ 14.8	0.0	▲ 15.4
R 01.05(n=77)	▲ 14.3	(▲ 5.5)	▲ 31.3	4.7	▲ 33.3	▲ 20.0	0.0
R 01.08(n=74)	▲ 9.4	(4.9)	▲ 35.1	10.0	▲ 30.5	▲ 11.8	0.0
R 01.11(n=68)	▲ 19.2	(▲ 9.8)	▲ 18.9	▲ 5.6	▲ 41.0	▲ 27.7	20.0
R 02.02(n=78)	**▲ 21.8**	**(▲ 2.6)**	**▲ 10.3**	**▲ 27.8**	**▲ 37.0**	**▲ 26.3**	**21.5**
前回調査比	－	－	－	(▲ 22.2)	(4.0)	(1.4)	(1.5)
先行き見通し	**▲ 29.5**	**－**	**－**	**▲ 22.2**	**▲ 25.9**	**▲ 47.4**	**▲ 21.5**
今回調査比	(▲ 7.7)	－	－	(5.6)	(11.1)	(▲ 21.1)	(▲ 43.0)

⑥ 庄内飽海

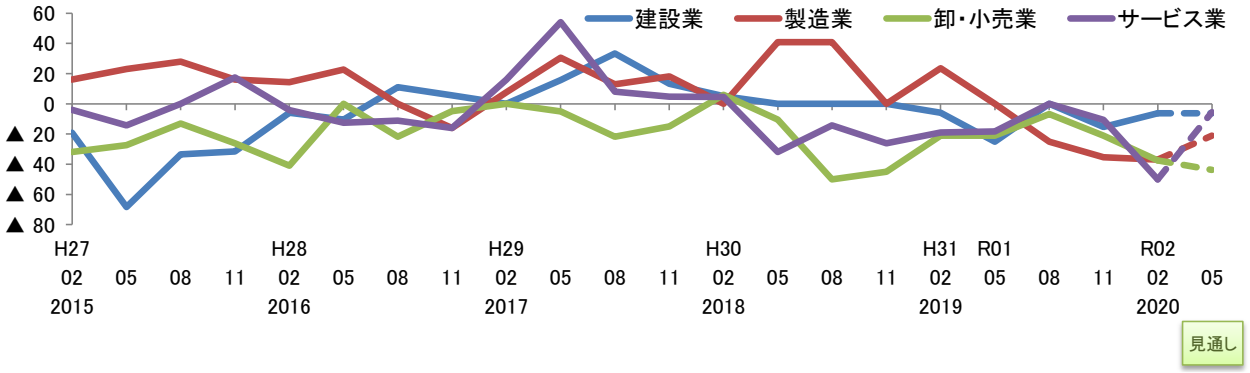
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲33.3（前回調査比 12.7 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲18.9（今回調査比 14.4 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 23　庄内飽海「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 24　庄内飽海「業種別・自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



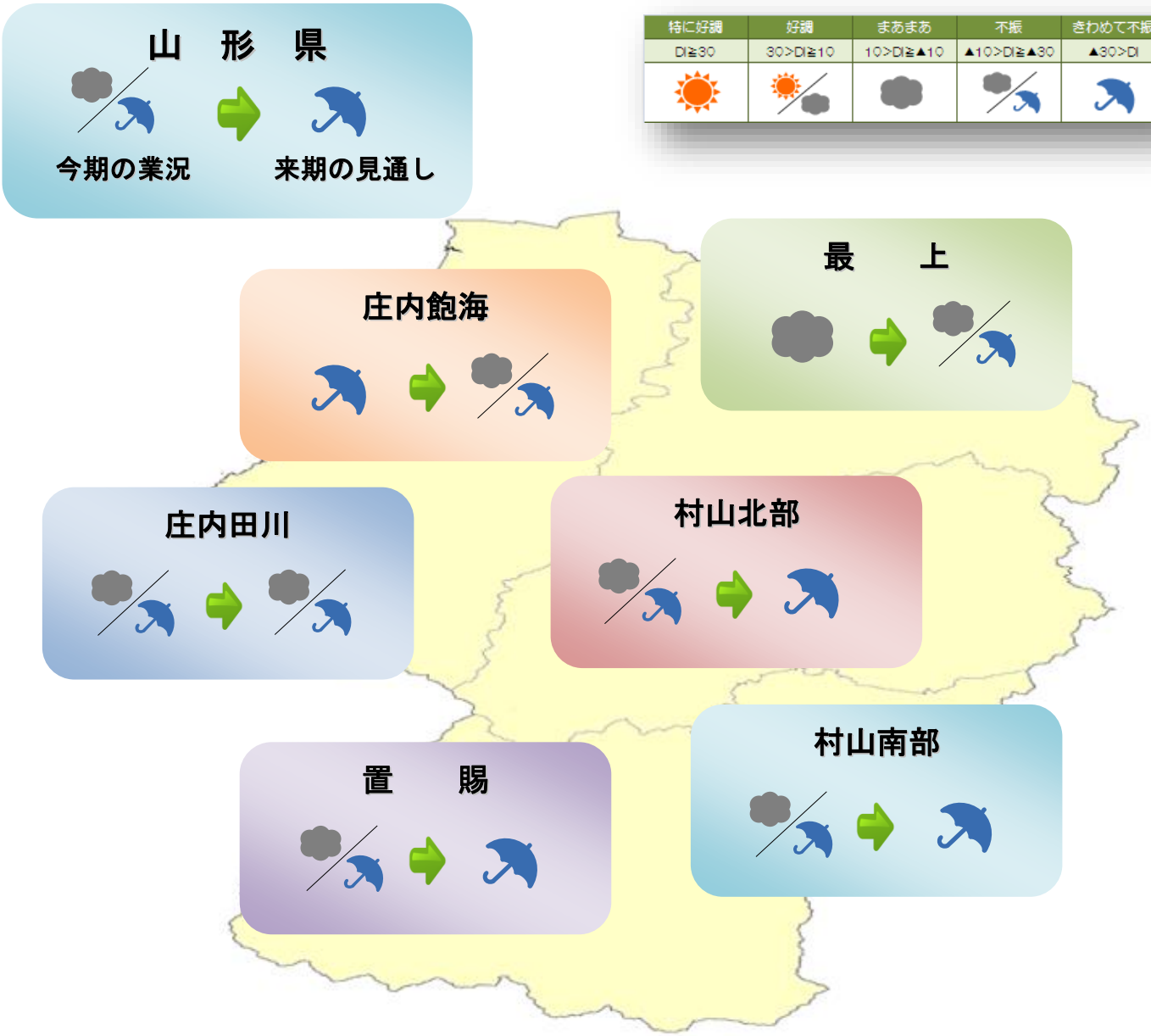
前年同期比の自社業況ＤＩ値

庄内飽海	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービス
H 31.02(n=74)	▲ 6.8	(11.1)	▲ 15.5	▲ 5.9	23.5	▲ 21.0	▲ 19.0
R 01.05(n=79)	▲ 15.2	(▲ 8.4)	▲ 18.9	▲ 25.0	0.0	▲ 21.1	▲ 18.2
R 01.08(n=74)	▲ 8.1	(7.1)	▲ 30.4	0.0	▲ 25.0	▲ 6.7	0.0
R 01.11(n=68)	▲ 20.6	(▲ 12.5)	▲ 13.5	▲ 15.4	▲ 35.3	▲ 21.0	▲ 10.6
R 02.02(n=69)	**▲ 33.3**	**(▲ 12.7)**	**▲ 28.0**	**▲ 6.3**	**▲ 36.9**	**▲ 37.5**	**▲ 50.0**
前回調査比	－	－	－	(9.1)	(▲ 1.6)	(▲ 16.5)	(▲ 39.4)
先行き見通し	**▲ 18.9**	**－**	**－**	**▲ 6.3**	**▲ 21.0**	**▲ 43.7**	**▲ 5.5**
今回調査比	(14.4)	－	－	(0.0)	(15.9)	(▲ 6.2)	(44.5)

II. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI≧30	30>DI≧10	10>DI≧▲10	▲10>DI≧▲30	▲30>DI



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全　業　種							
建　設　業							
製　造　業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

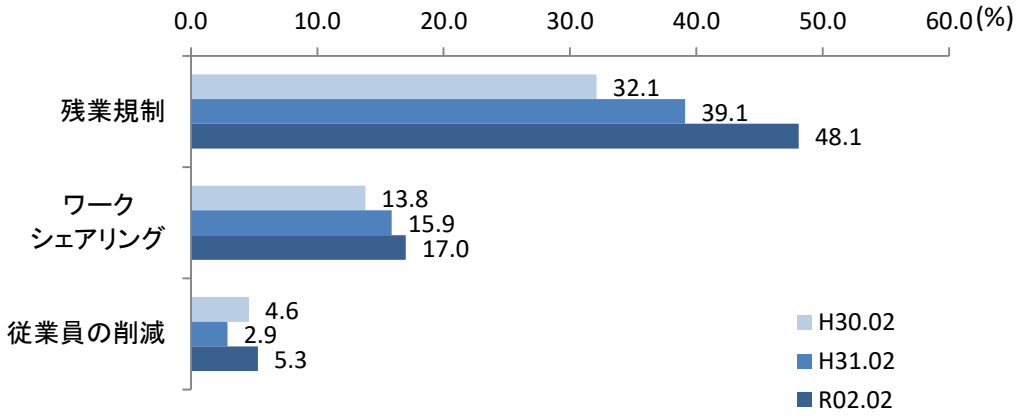
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全　業　種							
建　設　業							
製　造　業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

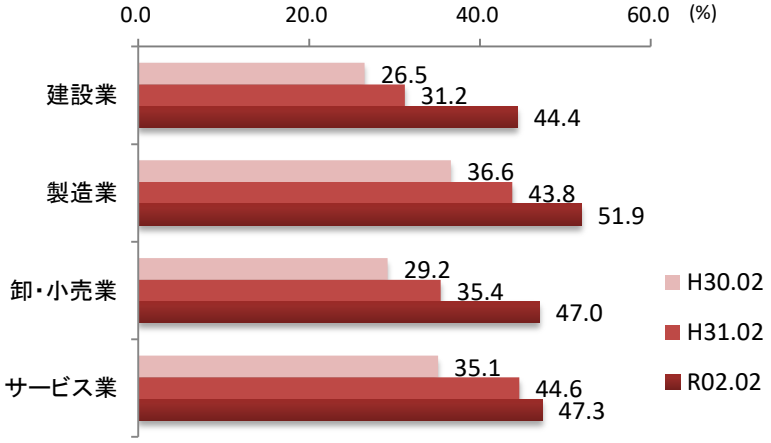
1. 雇用調整について

令和元年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 48.1%（昨年比 9.0 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 17.0%（昨年比 1.1 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 5.3%（昨年比 2.4 ポイント上昇）と、すべての項目で昨年に比べ実施している企業の割合が上昇した。

図表 25　雇用調整の実施状況

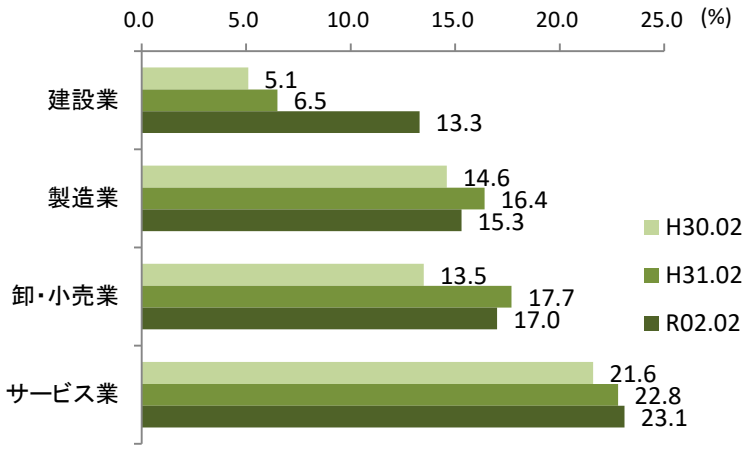


図表 26　業種別「残業規制」の実施状況



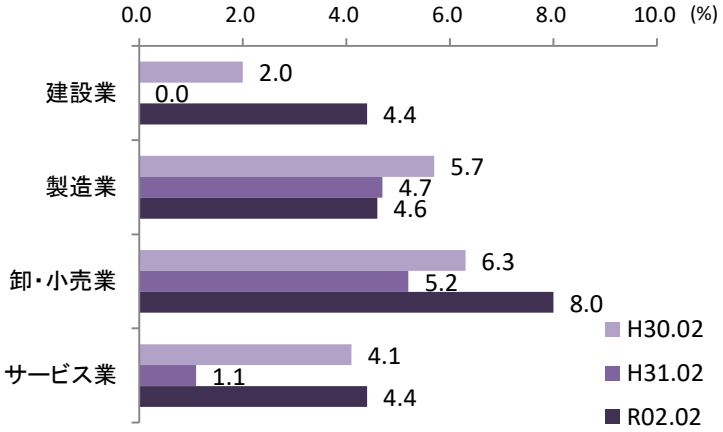
「残業規制」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、すべての業種で上昇した。中でも建設業が 44.4%（昨年比 13.2 ポイント上昇）、製造業が 51.9%（昨年比 8.1 ポイント上昇）、卸・小売業が 47.0%（昨年比 11.6 ポイント）と上昇幅が大きく、製造業では 5 割を超えている。

図表 27　業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業とサービス業で上昇した一方、製造業と卸・小売業では低下した。建設業では大幅に上昇となっている。

図表 28　業種別「従業員の削減」の実施状況

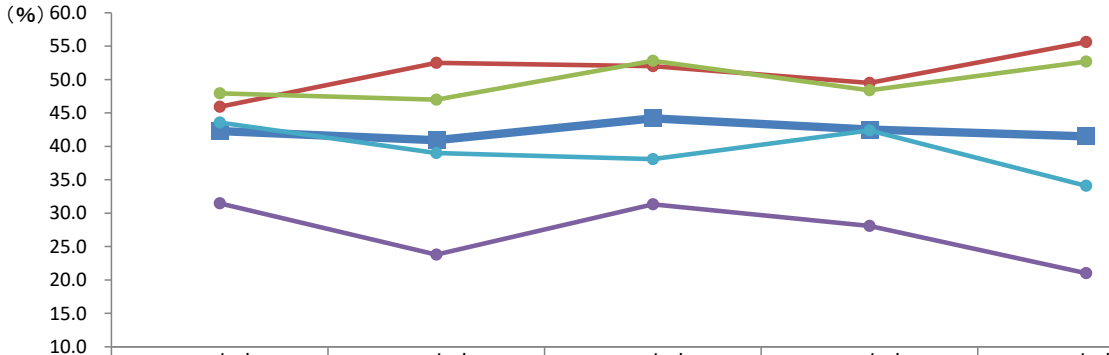


「従業員の削減」の実施割合を業種別にみると、製造業で 2 年連続して低下となった一方、建設業、卸・小売業、サービス業では昨年に比べ上昇した。

2．新卒者の採用状況について

来年度（令和 2 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 41.5%（昨年調査比 1.0 ポイント低下）と小幅ながら 2 年連続で低下となった。業種別にみると、建設業が 55.6%（昨年調査比 6.1 ポイント上昇）、製造業が 52.7%（昨年調査比 4.3 ポイント上昇）、卸・小売業が 21.0%（昨年調査比 7.1 ポイント低下）、サービス業が 34.1%（昨年調査比 8.3 ポイント低下）と、建設業と製造業で上昇した一方、卸・小売業とサービス業で低下となった。

図表 29　業種別「新卒者の採用状況」の推移



	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
全業種	42.3	40.9	44.2	42.5	41.5
建設業	45.9	52.5	52.0	49.5	55.6
製造業	47.9	47.0	52.8	48.4	52.7
卸・小売業	31.5	23.8	31.3	28.1	21.0
サービス業	43.6	39.0	38.1	42.4	34.1

＜参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率＞

（サンプル数：社）

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	22	35	45	55	157
村山北部	20	34	17	18	89
最上	21	18	10	18	67
置賜	23	30	25	13	91
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	34	34	31	37	136
合計	150	189	157	170	**666**

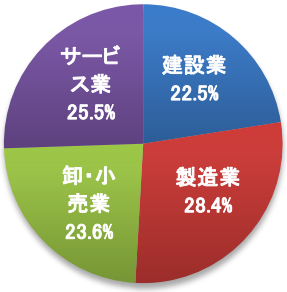
（回答数：社）

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	18	27	31	39	115
村山北部	10	20	13	9	52
最上	19	13	7	4	43
置賜	9	25	14	7	55
庄内田川	18	27	19	14	78
庄内飽海	16	19	16	18	69
合計	90	131	100	91	**412**

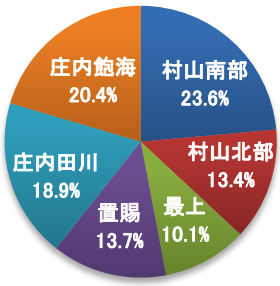
（回答率：%）

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	81.8	77.1	68.9	70.9	73.2
村山北部	50.0	58.8	76.5	50.0	58.4
最上	90.5	72.2	70.0	22.2	64.2
置賜	39.1	83.3	56.0	53.8	60.4
庄内田川	60.0	71.1	65.5	48.3	61.9
庄内飽海	47.1	55.9	51.6	48.6	50.7
合計	60.0	69.3	63.7	53.5	**61.9**

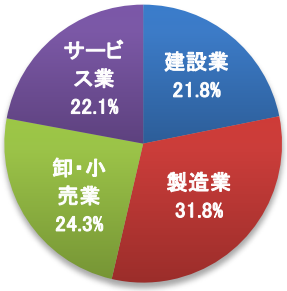
サンプル割合（業種別）



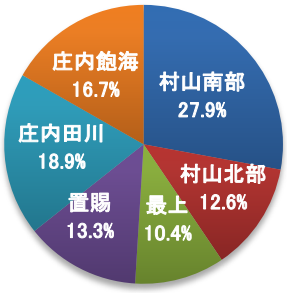
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



＜参考資料Ⅱ：調査の概要＞

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部ＦＡＸを利用）

● 調査期間

令和 2 年 2 月 3 日(月)～14 日（金）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最　　上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置　　賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項　　目	選択肢　　（択一方式）
自社の業況（共通項目）	1．良い　　2．さほど変わらない　　3．悪い
業界の業況（共通項目）	1．良い　　2．さほど変わらない　　3．悪い
売上高（建設業を除く）	1．増えた　　2．さほど変わらない　　3．減った
完成工事高（建設業）	1．増えた　　2．さほど変わらない　　3．減った
営業利益（共通項目）	1．増えた　　2．さほど変わらない　　3．減った
人員や人手（共通項目）	1．足りない　　2．ちょうどよい　　3．余っている
資金繰り（共通項目）	1．楽になった　　2．さほど変わらない　　3．厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1．下がった　　2．さほど変わらない　　3．上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1．下がった　　2．さほど変わらない　　3．上がった
在庫状況（製造業）	1．増えた　　2．さほど変わらない　　3．減った
手持工事高（建設業）	1．増えた　　2．さほど変わらない　　3．減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれＤＩ値を算出する。ＤＩ値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り

例）自社の業況ＤＩ値
　　＝（「1. 良い」と回答した企業の割合）－（「3. 悪い」と回答した企業の割合）

たとえば「自社の業況ＤＩ値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる

ちなみに、他のＤＩ値についても同様に、選択肢「1.　　」（「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3.　　」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

＜お知らせ＞

ＦＳＮ会員専用ホームページ（http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi）にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ（https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki）「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

＜お問い合わせ先＞

株式会社フィデア情報総研
リサーチ＆コンサルティング事業本部　　熊本　均　／松田　美由紀
〒９９０－００４３　山形県山形市本町１－４－２１荘銀山形ビル８Ｆ
ＴＥＬ：０２３－６２６－９０１７　　ＦＡＸ：０２３－６２６－９０３８
E-mail：kenkyuu@fir.co.jp　　ＵＲＬ：https://www.fir.co.jp/